



《将来に向けた取組方針》

野村グループでは、健全な地球環境こそが、次世代へと続く安定した経済・社会の礎であるとの認識の下、気候変動を中心とした環境問題への取り組みを加速するとともに、自然資本の保全にも取り組んでいます。私たちは、サステナビリティに関連するビジネス上の取り組みを通じて、生物多様性を保全する事業を支援することに加え、私たちの提供する商品・サービスが生物多様性へ負の影響を及ぼさないよう配慮して参ります。また、自社の温室効果ガス排出量の削減をはじめとした環境負荷の軽減にも取り組み、自然資本を保全することで持続可能な環境・社会の実現に貢献します。

事業活動を通じた取り組み

野村グループの総合力を活かし、
社会課題の解決に資するソリューションを提供

> サステナブル・ファイナンス

グリーンボンド、ソーシャルボンドに代表される債券の引受・販売を通じて、SDGsの達成に貢献

> M&Aアドバイザー

サステナビリティ分野におけるM&Aアドバイザー・サービスをグローバルに強化・推進

> コンサルティング

高い専門性のもと、付加価値のあるアドバイスを提供

> ESG関連ファンドの提供

ESGやSDGs 関連の投資商品を継続的に開発・提供

自社における取り組み

温室効果ガス排出量のネットゼロ目標を設定、
グループ全体で環境保全活動を推進

> ネットゼロ達成に向けた目標の公表

- ・ 2030年迄：
当社の拠点で排出する温室効果ガス排出量のネットゼロ
- ・ 2050年迄：
投融資ポートフォリオの温室効果ガス排出量のネットゼロ

> 生物多様性の保全に向けた取り組み

- ・ ロンドンオフィスの屋上ガーデンエリアでの養蜂
- ・ 災害支援、植樹活動等を世界各地で実施

> イニシアティブへの参画

- ・ GX経営促進ワーキング・グループを幹事企業としてリード
- ・ TNFDフォーラムへの賛同
(野村ホールディングス、野村アセットマネジメント)